



ベートーヴェン生誕250年特別企画
兵庫県立芸術文化センター開館15周年記念事業

管弦楽団カルヴィ

指揮 Paavo Järvi
Bremen Kammerorchester

Akiko Suwanai, violin

運命——最高峰のベートーヴェン

© Kaupo Kikkas



【ヴァイオリン】
諏訪内晶子
Akiko Suwanai, violin

© Kiyotaka Saito

オール・ベートーヴェン・
プログラム *Ludwig van Beethoven*

ヴァイオリン協奏曲

Violin concerto in D major

交響曲 第5番「運命」

Symphony No.5 in C minor

2020 12/5(土) 2:00PM開演(1:00PM開場)

A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円(全席指定/消費税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日) ※未就学児童はご入場いただけません。

発売日 10/24	チケット 取扱
---------------------	------------

- 芸術文化センター 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター2階総合カウンター【10/25(日)より、残席がある場合のみ】
- チケットぴあ <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット <http://l-tike.com>
- イープラス <http://eplus.jp>

<チケットご購入のお客様へお願い> 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでの販売は、来場者情報把握のため、先行予約会員に登録いただける方に限定させていただきます。チケットのご購入はお一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売いたします。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認いただきますようお願いします



パーヴォの「運命」！諏訪内晶子のコンチェルト！

2004年、パーヴォ・ヤルヴィはドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団の芸術監督に就任。その直後に彼が着手したのがベートーベン・プロジェクトだった。コンサートのみならず2004年から2008年には交響曲全曲録音に取り組み、世界の注目を集めた。そしてベートーベン演奏の新たな指標となる解釈を打ち出したとして、両者は一気に名声を高めたのだ。

このプロジェクトの成功から十数年、彼らは多彩なプロジェクトに取り組んできたが、2020年はやはりベートーベン生誕250年の記念イヤー。開幕にあたり昨年12月17日(ベートーベンの誕生日は12月16日または17日とみられている)にはドイツ大統領夫妻の招きによりベルビュー宮殿にて演奏を披露するなど、ベートーベン演奏へのお墨付きは健在だ。2020年11月には本拠地ドイツ・ブレーメンで4日間にわたり交響曲全曲チカルスを開催。その勢いそのままに、今回の来日公演が敢行されるのだ。

ヤルヴィと当楽団といえば、2006年、2018年にヒラリー・ハーンを迎えて当芸術文化センターにも来演し、その真価を体感した方も多いだろう。今回は、史上最年少でチャイコフスキイ国際コンクールに優勝して以来、世界的に活躍を続ける諏訪内晶子がソリストを務め、ベートーベンの最高傑作のひとつ「ヴァイオリン協奏曲」を演奏する。そして追真の「運命」！

世界最高峰のベートーベンに、いま、出会える。



2018年KOBELCO大ホール公演より

パーヴォ・ヤルヴィ [指揮] Paavo Järvi, conductor



© Kaupo Kikkas

2004年よりドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団の芸術監督を務めているパーヴォ・ヤルヴィは、同オーケストラと共に常に上を目指そうと言う強い意志で結ばれており、エネルギーッシュでありながらもニュアンスに富んだ演奏で世界中の聴衆の心をつかんでいる。これまでにヨーロッパはもちろん、日本・中国・韓国・米国のツアーを行ったほか、ザルツブルク音楽祭、BBCプロムス、ニューヨークの音楽祭モーストリー・モーツアルト・フェスティバルなどに出演している。

祖国エストニアでは、エストニアの若手音楽家とヨーロッパの一流オーケストラのメンバーから成るエストニア・フェスティヴァル管弦楽団を立ち上げ、芸術的にも大きな成功を収め、海外ツアーも行っている。2015年からは、NHK交響楽団首席指揮者を務め、2020年2月から3月にかけて、2度目となるヨーロッパ・ツアーを成功させた。2019年シーズンより、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団の音楽監督・首席指揮者に就任。幅広いレパートリー、エネルギーッシュな演奏で多くのファンを魅了している。

諏訪内晶子 [ヴァイオリン] Akiko Suwanai, violin



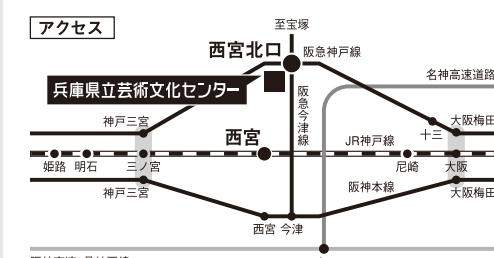
© TAKAKI KUMADA

1990年史上最年少でチャイコフスキイ国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共に演奏。BBC プロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2012年、2015年、エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門及び2019年チャイコフスキイ国際コンクール審査員。2012年より「国際音楽祭 NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。デッカより14枚のCDをリリース。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。

ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

The Deutsche Kammerphilharmonie Bremen

世界屈指の室内オーケストラ、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団は、そのユニークな音楽創りで世界中の聴衆を魅了している。2004年からエストニア出身の指揮者パーヴォ・ヤルヴィが芸術監督を務める。ヤルヴィとの数あるコラボレーションの中で特に注目すべき活動として「ベートーベン・プロジェクト」が挙げられる。世界各地でのベートーベン全曲演奏会は称賛の嵐を巻き起こした。また、同レコーディングにより、ヤルヴィは2010年のエコー・クラシック年間最優秀指揮者賞を受賞した。Deutsche Welle(ドイツの国際放送)プロデュースによる音楽ドキュメンタリー「ベートーベン・プロジェクト」は、長編ドキュメンタリー映画部門観客賞(アメリカ)、ミュージック・ペンクラブ音楽賞(2010年日本)ほか国内外の16の映画、テレビ賞に輝いた。ショーマン・プロジェクトも「ヤルヴィとブレーメンのドリーム・チームがまたしても大勝利を収めた」と称賛され、ブームス・プロジェクトでは「意気揚々とした演奏」とニューヨーク・タイム紙が評した。同プロジェクト第一弾のCDは、2018年オーパス・クラシック賞に輝いた。グラミー賞受賞者でもあるヤルヴィの主導の下、ドイツ・カンマーフィルハーモニーはその卓越した演奏で世界的に注目を集め、トップ・オーケストラに発展したのである。



◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。